

事業内容	実施目標（指標）	実施状況
【基本目標1】医療や介護が必要になっても、可能な限り在宅で生活できる体制づくり		
1 医療・介護の連携強化 (1)在宅医療・介護連携推進事業の推進	丸亀市在宅医療介護連携支援センターによる医療・介護連携に関する相談支援の推進 医療介護連携クラウドシステム(まんてネット)の活用推進(まんてネットの部屋の開設数:310部屋) 医療・介護関係者への研修の充実と市民への普及啓発(多職種研修会の実施:8回)	丸亀市医師会、綾歌地区医師会内に在宅医療介護連携支援センターを設置し推進 システム登録数:ID登録者数 新規18人 延724人 まんてネットの部屋の開設数 新規2部屋 延270部屋 多職種研修会の実施:6回、地域への出前講座:6回
【基本目標2】支援を要する高齢者を支える体制づくり		
1 要支援者や一人暮らし高齢者等を支えるサービスの充実 (1)介護予防・生活支援サービス事業の充実	緩和基準型の訪問サービスの充実と利用促進(サービス利用者:50人)	月平均13人(シルバー人材センター)
2 高齢者を支える地域の体制づくり (1)地域の支え合いづくり (2)地域のネットワークづくり (3)地域ケア会議の推進 (4)高齢者の移動支援	生活支援体制整備事業の推進(生活支援CD:17人、協議体:17ヶ所、助け合い事業実施:8ヶ所) 地域関係者とのネットワークの強化及び見守り体制の充実 地域ケア会議の推進(個別会議:20回、その他会議:3回) 高齢者の移動手段確保事業の実施(8コミュニティ)	13か所で話し合い活動メンバーによる話し合いの場を開催。研修会を開催し、新たなコーディネーターや協議体の設置に向けて協議していく ランチ連絡会の開催:6回 個別会議(自立支援型):12事例6回(困難事例):6事例 6回(推進会議:1回) 高齢者の移動手段確保事業:7コミュニティで実施
【基本目標3】認知症の人が自分らしく生活できる地域づくり		
1 認知症施策の推進 (1)認知症に関する普及・啓発の推進 (2)早期に対応・支援できる体制づくり (3)認知症高齢者・家族への支援体制の整備 (4)認知症の人々を支える地域づくり	認知症に関する各種講座の実施(小学校:15校、中学校:5校) 認知症の早期発見・対応への取組み強化(認知症初期集中支援チーム対応件数:45件) 認知症の家族を支援する体制整備(介護支援講座:6回) 認知症の人やその家族が集える場所づくり(認知症カフェ:15ヶ所 わたしの居場所まるちゃん:1か所) 認知症行方不明高齢者家族支援サービスの実施 認知症サポーター養成の推進(認知症サポーター数(累計):16,000人) シルバー交番員(上級サポーター)の養成と活動体制の構築 認知症SOSネットワークの推進	キッズサポーター養成講座:16校(1,121人) ジュニアサポーター養成講座:6校(969人) 初期集中対応件数:38件 認知症の人を介護する家族のための講座:6回(参加者:70人) にじいろカフェ:15か所(169回開催 参加者:2,054人) わたしの居場所まるちゃん:参加者199名 認知症行方不明高齢者家族支援サービス(GPS)申請者:4件 認知症サポーター数(累計):19,987人 活動の手引きの作成による活動体制の構築 シルバー交番員:39名 認知症等見守り・SOSネットワーク会議の開催:1回
2 権利擁護の推進 (1)権利擁護の地域連携ネットワークの構築 (2)成年後見の担い手の確保 (4)高齢者虐待の防止	相談体制の強化、中核機関を中心とした地域連携ネットワークの構築(受任調整件数10件) 市民後見人の活動支援(市民後見人候補者数:25人、市民後見人:8人) 市民・事業所等への啓発の推進(研修会:3回)	受任調整件数 7件 市民後見人候補者数:19人 市民後見人:4人 高齢者虐待防止等実務者会議の開催:3回
【基本目標4】地域づくりと連携した介護予防・健康づくりの推進		
1 介護予防・健康づくりの充実 (1)一般介護予防事業の充実 (2)住民主体の通い場の充実	介護予防についての普及啓発(運動教室開催回数:400回) 介護予防と居場所づくりの推進(長生き体操実施場所:85ヶ所)	市内2センター及び各コミュニティ等22ヶ所で337回実施。 高齢者や介護者等に検診等の情報提供、出前講座での周知及びケーブルテレビ放映において介護予防情報の動画(しゃんと体操・口腔ケア・栄養改善)を放映・オリジナル体操を公式YouTubeにアップロード中 いきいき健口教室:3コースのべ144人参加 出張健口講座:6回(参加者:66人) 市内47ヶ所/68ヶ所中の地域の身近な場所での居場所づくりに向けて実施(新規3か所)